

理事・監事会議事録

- 1.開催場所 青森市本町5丁目1番5号 アップルパレス青森 会議室
1.開催日時 平成25年8月31日 午後1時
1.理事数 7名
1.監事数 1名
1.出席理事・監事数 7名（理事：濱崎正明、佐賀平一郎、小山内良一、太田健一、森山裕三、田中實 監事：一戸治）

代表理事濱崎正明が議長として本会の進行を務める旨を述べ議案の審議に入った。

第1号議案 平成25年4月から8月末までの事業報告

議長より、平成25年4月から8月末までに行った事業につき、下記のとおり報告を行った

- ・ 4月より、奨学生新規4名に対しての奨学金給与を開始。
- ・ 5月16日 下北半島開発史研究成果出版についての打合せを編者、出版社と東京で行った。
- ・ 5月28日 理事・監事会を開催し、平成24年度決算書類等の承認を受け、自然環境保護活動助成金採択決定などを行った。
- ・ 5月30日 評議員会を開催し、平成24年度決算書類等の承認を受けた。
- ・ 5月30日 ホームページにて情報公開欄を作成し、議事録、決算書類等を掲載し、公開した。
- ・ 5月30日 ホームページにて、奨学生の募集、地域開発事業、自然保護事業の助成金募集開始を掲載。
- ・ 8月15日 下北半島開発史研究成果として、「下北半島独立論」上梓。

上記事業報告につき、議場に諮ったところ、出席者全員異議なく承認した。

続いて議長より、4月から8月末までの経理報告書を配布のうえで、その説明を行い、議場に諮ったところ、出席者全員意義なくこれを承認した。

第2号議案 「下北半島独立論」の上梓について

議長より、第1号議案の事業報告でも報告した、下北半島開発史の成果として出版を予定していた「下北半島独立論」が上梓された旨の報告をあらためて行い、出席者に「下北半島独立論」を配布した。出席者全員意義なくこれを承認した。

第3号議案 研究テーマについて

議長は、明治時代の大湊の開港について取りまとめたものがないこと、これについてきちんと取りまとめたほうがよいという意見が当財団に寄せられていることを述べ、当財団として、どのように協力していくかを検討し、次回以降に具体的に提案したい旨を述べ、議場に諮ったところ、出席者全員意義なくこれを承認した。

第4号議案 奨学生募集の件

議長より、奨学生募集をしているにもかかわらず、いまだ問い合わせが1件もないことを報告した。現在の奨学生からは、非常に助かっている旨のお礼や、大学院へ進学した場合でも奨学金給与を続けてもらいたいなどの希望が出ていることを付言したうえで、議場に意見を求めた。

役員からは、

- ・ 学校側が生徒へ周知させていないのではないか。
- ・ 貸与ではなく、返済の必要がない給与であることから、審査が厳しいと思われるのではないか。
- ・ 返済の必要がない奨学金制度がなかなかないことから、おかしいと勘繰られているのではないか。
- ・ 県全域に対しての奨学生の募集を始めたのが昨年4月からであり、まだ当財団の奨学金制度が県内の高校に浸透していないのではないか。

という意見が出た。

結論として、奨学生募集要項を県内のいくつかの高校に送り、当財団の奨学金制度の県内高校への浸透を試みることで、出席者全員意義なくこれに賛同した。

以上をもって本日の理事・監事会の議案審議が終了したので午後2時に閉会した。上記の決議を明確にするため議事録を作成し、出席理事、監事全員が記名押印した。

平成25年8月31日

公益財団法人地域開発研究所

議長 代表理事 濱崎正明 (印)

理事 佐賀平一郎 (印)

同 小山内良一 (印)

同 太田健一 (印)

同 森山裕三 (印)

同 田中實 (印)

監事 一戸治 (印)